



5月24日から26日にかけて、多くの教会が別席団参などを実施。親里は連日、大勢の帰参者でにぎわった

年祭の旬、にぎわう親里

教会・教区の団参相次ぐ

5月24日から26日にかけて、天理教の教会や、都道府県ごとに設けられた教区による団参が実施。奈良県天理市の教会本部周辺は、全国各地から帰り集った大勢の人でにぎわいを見せた。

なかでも25日には、合同の団参が相次ぎ、帰参者は、親神様の思召を伝える別席を聴かせていただいたり、本部神殿の回廊拭きや神苑周辺の清掃などのひのきしんに取り組んだりした。また、午前11時半から本部神殿で勤められた「お願いづとめ」には、大勢の人々が参集。世の人々のたすかりを願うとともに、来年1月に迎える教祖140年祭に向けて一層の成人を目指すことを誓い、おつとめを勤めた。

